

# アジア諸国の経済概況

海外進出

進出国

基本情報

	日本	中国	ベトナム	タイ	フィリピン	インドネシア
<b>人口</b> (人) [2019年調べ、(出所)World Population Prospects]	1億2,533万	14億3,932万	9,733万	6,980万	1億958万	2億7,352万
<b>国土</b> (万km <sup>2</sup> ) [2018年調べ、(出所)The World Bank]	37.8	956.3	33.1	51.3	30.0	191.4
<b>実質GDP成長率</b> (%) [2019年調べ、(出所)IMF]	0.65	+6.11	+7.02	+2.37	+5.91	+5.03
<b>1人あたりGDP</b> (米ドル) [2018年調べ、(出所)IMF]	39,303	9,580	2,551	7,448	3,104	3,871
<b>進出日系企業数</b> (社) [2017年調べ、(出所)外務省]	—	32,349	1,816	3,925	1,502	1,911

## 中国

- + 現地市場の規模・成長性
- + 強固なサプライチェーン
- 現地企業、他の外資との競争が厳しい
- 米中摩擦等、国際間対立が深化

## タイ

- + インフラ・法制運用等の事業環境の整備
- + 現地市場の規模
- 進出企業間の競争激化
- 労働コストの上昇

## ベトナム

- + BtoC企業の進出障壁が低く多様な業種が進出可能
- + 低い労働コスト、優秀な人材
- 進出企業間の競争激化
- 管理者クラスの人材確保が困難

## フィリピン

- + 英語が通じ、安価な労働力を確保可能
- + 現地市場の成長性
- 社会情勢が不安
- 法制度の運用が不透明

## インドネシア

- + 現地市場の規模・成長性
- + ワーカークラスの人材豊富
- 多くの初期投資が必要であり運営コストが高い
- 法制度の運用が不透明